

夏休みはフィールドマナーを身につけるチャンス

私たちが自然と接するとき、その自然を損なうように適切な接し方をする——これがフィールドマナーです。フィールドマナーは、もともとしつけとして身体でおぼえるべきものであり、その意味からは、両親、とくにお母さんがこうしたことを心がけ、幼児期のうちにしつけていたideきたいと思っています。行楽地や観光地で、よごされ、踏みつけられた自然を見るたびに、フィールドマナーを大人になってから身につけることが、いかにむずかしいかを痛感するからです。日本人の場合、家族中心の生活様式が強かった歴史的背景から見ても、持ち主のない自然なら、だれがどんなに利用してもかまわないという傾向がありました。それだけに、これからは、フィールドマナーをもっと強くもってひろく培っていく必要があります。

自然はみんなのものです。みんなのものだからこそ、勝手に私物化すべきではないという考え、それが自然保護の倫理です。自然保護は、社会的に自然をどう扱うかというフィールドマナーでもあるのです。あとから来る人にも楽しませてあげたいと思う心を持ちましょう。あなたが来るまでは美しかった、といわれないうちに、この夏、自然に対して何をしたらよいかを考えましょう。

■次代になう青少年に、愛鳥活動を通じて自然に親しみ、自然を愛護する豊かな心情を育てるための思想の普及と実践をすすめる「愛鳥教育研究会」が発足しました。教育関係をはじめ、関心を寄せられる皆さまのご参加をお待ちします。くわしいおたずねは、〒150東京都渋谷区南平台町8-20 日本鳥類保護連盟内《愛鳥教育研究会》へどうぞ。



ヒトの他に「トリ」の保護区を

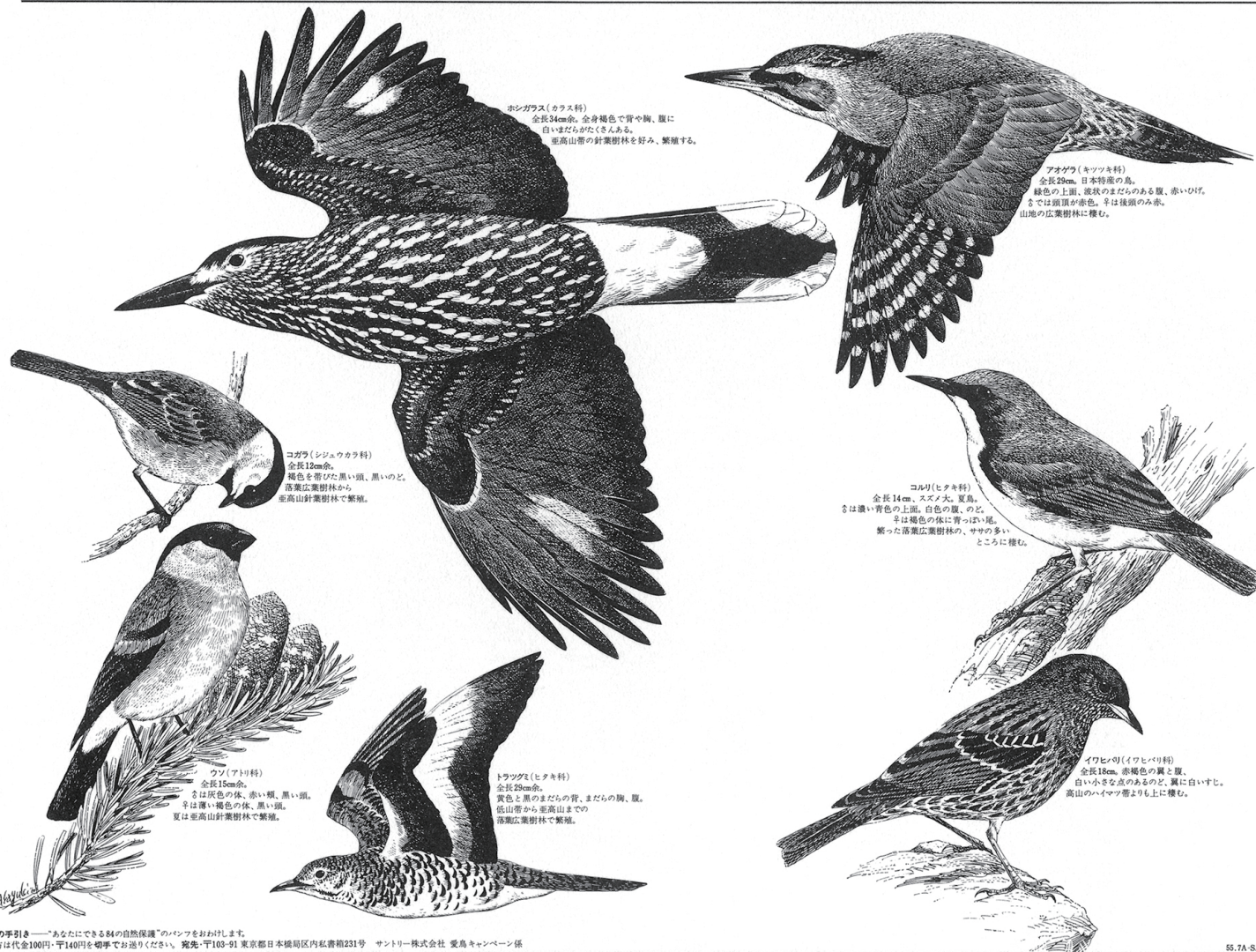
財団法人 日本鳥類保護連盟
サントリー株式会社

●この広告は、財団法人日本鳥類保護連盟の指導を得て、サントリー株式会社からシリーズとして制作し、原則として毎月第3日曜日に掲載いたします。

トリからのメッセージ 85

●自然保護の手引き——「あなたにできる自然保護」のパンフをおかけします。
ご希望の方は代金100円・〒140円を切手でお送りください。 宛先:〒103-91 東京都日本橋区区内私書箱231号 サントリー株式会社 愛鳥キャンペーン係

あなたが来るまでは美しかった



ホシガラス(カラス科)
全長34cm余。全身褐色で背や胸、腹に
白いまだら模様がある。
亜高山帯の針葉樹林を好み、繁殖する。

アオガラス(キツツキ科)
全長29cm。日本特産の鳥。
緑色の上面、波状のまだらのある腹、赤いひげ。
さでは頭頂が赤色。半は後頭のみ赤。
山地の広葉樹林に棲む。

コガラ(シジュウカラ科)
全長12cm余。
褐色を帯びた黒い頭、黒いのど。
落葉広葉樹林から
亜高山針葉樹林で繁殖。

コリ(ヒタキ科)
全長14cm。スズメ大。夏鳥。
さには濃い黄色の上面、白色の腹、のど。
半は褐色の体に青っぽい尾。
繁った落葉広葉樹林の、ササの多い
ところに棲む。

ツツ(アトリ科)
全長15cm余。
さには灰色の体、赤い頬、黒い頭。
半は濃い褐色の体、黒い頭。
夏は亜高山針葉樹林で繁殖。

トラツグミ(ヒタキ科)
全長28cm余。
黄色と黒のまだらの背、まだらの胸、腹。
低山帯から亜高山までの
落葉広葉樹林で繁殖。

イワヒバリ(イワヒバリ科)
全長18cm。赤褐色の翼と腹、
白い小さな点のあるのど、翼に白いすじ。
高山のハイマツ帯よりも上に棲む。